



病院のビジョン

（すべての人々にとって）なくてはならない病院をめざします。

病院のミッション

1. 標準的治療・低侵襲的治療に心掛け、総合的な医療の質の向上に努めます。
2. 地域のヘルスプロモーションを推進する役割を担います。
3. 双方を支える人づくりに取り組みます。

科目

内科／循環器内科／呼吸器内科／消化器内科／内視鏡内科／肝臓内科／神経内科／腎臓内科／人工透析内科／感染症内科／腫瘍内科／緩和ケア内科／血液内科／糖尿病内科／代謝内科／脂質代謝内科／外科／肛門外科／心臓血管外科／脳神経外科／消化器外科／乳腺外科／呼吸器外科／整形外科／リウマチ科／脊椎外科／関節外科／小児科／産婦人科／皮膚科／泌尿器科／精神神経科／眼科／リハビリテーション科／放射線科／耳鼻咽喉科／麻酔科／臨床検査科／救急科／病理診断科／歯科口腔外科

沿革

1960年	9月	「右京診療所」開設	2007年	11月	卒後臨床研修評価機構認定病院取得
1962年	5月	「右京病院」開設（27床）	2010年	1月	1.5テスラMRI導入
1971年		「右京病院」増築（115床）	2010年	7月	HCU（ハイケア・ユニット）開設
1977年		「京都民医連第一次長期計画」で京都民医連のセンター病院建設を確認。右京病院を準備病院と位置付け。	2010年	10月	外来化学療法センター開設
			2011年	10月	「西館」開設、腎循環器センター開設
1987年	3月	「京都民医連中央病院」開設	2012年	4月	大腸・肛門病センター開設
2001年	4月	厚生労働省指定臨床研修病院認可	2012年	9月	京都府がん診療推進病院に指定
2003年	6月	電子カルテ導入	2014年	4月	「南館」（教育研修センター）開設
2004年	3月	「京都民医連太子道診療所」開設	2014年	5月	日本医療機能評価機構付加機能（緩和ケア機能）認定
2004年	9月	「回復期リハビリテーション病棟」開設	2014年	7月	回復期リハビリテーション病棟増床、地域包括ケア病棟開設
2005年	2月	日本医療機能評価機構認定病院取得	2015年	5月	DPC・一般病床を293床へ増床
2006年	9月	救急告示	2017年	4月	歯科口腔外科開設
2006年	10月	ISO9001認証取得	2019年	4月	消化器センター開設
2006年	12月	「産婦人科・乳腺外科外来棟」開設	2019年	11月	右京区南太秦にリニューアル新築移転
2007年	7月	64列マルチスライスCT導入			

入院・診察のご相談は
ちいき総合サポートセンター
地域医療連携課まで



お問い合わせ

TEL ● 075-861-2650（専用）

FAX ● 075-861-2544（専用）

受付時間

月・水・金 ―― 8:30 ～ 20:30
火・木 ―― 8:30 ～ 16:30
土 ―― 8:30 ～ 12:30

京都保健会ネットワーク

病院	
吉祥院病院.....	TEL.075-672-1331
京都協立病院.....	TEL.0773-42-0440

診療所	
京都民医連太子道診療所.....	TEL.075-822-2660
かどの三条こども診療所.....	TEL.075-321-0013
春日診療所.....	TEL.075-311-3176
京都民医連かみの診療所.....	TEL.075-394-1460
上京診療所.....	TEL.075-432-1261
仁和診療所.....	TEL.075-462-1510
吉祥院こども診療所.....	TEL.075-693-1600
久世診療所.....	TEL.075-921-3535
九条診療所.....	TEL.075-691-7588
あやべ協立診療所.....	TEL.0773-42-3684
ふくちやま協立診療所.....	TEL.0773-20-2666
まいづる協立診療所.....	TEL.0773-76-7883
たんご協立診療所.....	TEL.0772-68-5017

介護事業所

総合ケアステーション太秦安井...	TEL.075-283-0111
総合ケアステーションわかば.....	TEL.075-451-0001

公益社団法人 京都保健会

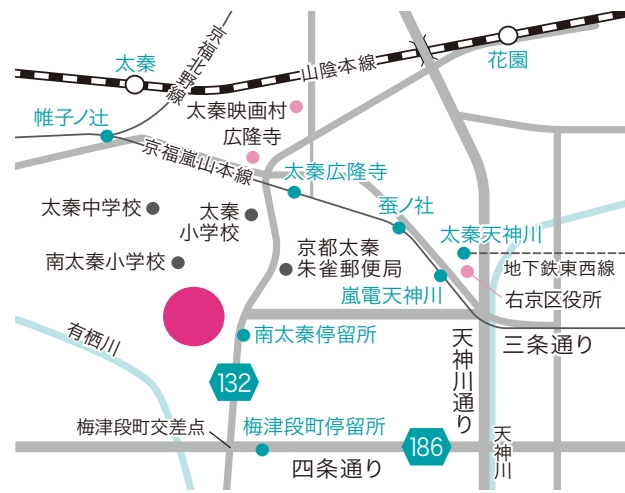


京都民医連中央病院

〒616-8147 京都市右京区太秦土本町2番1

TEL.075-861-2220 FAX.075-882-5781

ホームページ <http://kyoto-min-iren-c-h.jp/>



京都市営地下鉄東西線

太秦天神川駅下車／徒歩14分
〔病院直通シャトルバスを運行します〕

市バス

70系統南太秦停留所前下車すぐ
梅津段町停留所下車／徒歩10分

京福嵐山本線

太秦広隆寺駅下車／徒歩10分

公益社団法人 京都保健会



京都民医連中央病院

京都市右京区太秦土本町2番1 TEL.075-861-2220

厚生労働省指定基幹型臨床研修病院

救急告示病院

京都府がん診療推進病院

中京区認知症初期集中支援事業相談窓口



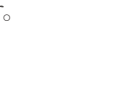
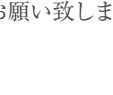
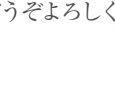
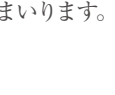
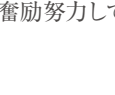
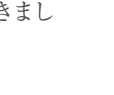
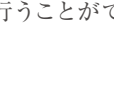
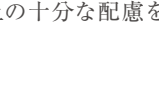
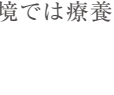
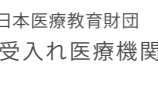
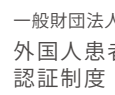
ISO 9001認証取得



卒後臨床研修評価機構認定病院



日本医療機能評価機構認定病院
日本医療機能評価機構付加機能
（緩和ケア機能）認定病院



当院では差額ベッド料はいたいておりません

院長挨拶

新病院開院、総合的な質の向上をめざして

公益社団法人京都保健会 京都民医連中央病院 院長 松原 為人



2018年5月に着工致しました新病院も2019年8月末に完成し、11月の開院となりました。

当院の医療につきましては、標準的な医療は可能な限り質を高め、かつ解りやすく提供することに努めます。特に疾患別・臓器別医療に関しては、適時性・効果的・効率的の三要素が同時に果たせるようセンター化し、機能を充実して対応します。また、地域包括ケアシステムのなかで重要な役割を持つ耳鼻咽喉科、歯科口腔外科では、体制が整い、手術機能の提供を致します。一方、複数疾患により複雑な病態となっているご高齢の方であっても安心してご紹介くださいますように、各科医療機能を総合的に発揮できるよう院内連携機能を構築致します。併せて「断らない救急」をモットーに拡げてきました救急機能も、更なる質的・量的拡充を図りながら地域医療に貢献できるように致します。

院内環境では療養上の十分な配慮を行うことができました。

医療を受けられる患者様はもとより、そこで働く職員にとっても良い効果を与えてくれると思います。相当数の個室が増えますが、これまで通り差額ベッド料はいただきません。また、屋外は安全面に配慮しつつも可能な限り境界の壁を取り除き、自由に広くご利用いただける様に致しました。地域にお住まいの方々と自然に溶け込める場所となることを願っております。

「（すべての人々にとって）なくてはならない病院をめざす」ことをビジョンとして掲げ、あらゆる視点での公正性と当院とが繋がるすべての方々との共同を軸に据え、これまで培ってきた「総合力」と「多職種協働の力」を駆使して総合的な質の向上に取り組み、急性期医療機能と在宅復帰支援機能を中心とした医療提供と地域のヘルスプロモーションの拠点としての役割を十分に果たしていきたいと、職員一同これからも奮励努力してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

年間4,000件の救急車受け入れを目標

救急医療

京都市西北部の救急医療を支えられるよう、救急機能を拡充します。施設的には救急車は3台同時に受け入れが可能で、緊急検査に対応し、高度急性期病棟への入院と手術への流れをスムーズに行い、より効率的な運営で24時間365日受け入れ可能な「断らない救急」をめざします。

Kyoto Miniren
Chuo Hospital

地域医療を総合力で

腎センター

透析を53床から65床に増床し、災害時でも対応できるような大規模な透析センターです。また、腎疾患、尿検査異常、慢性腎症等の透析導入までの疾患も対応できる幅広いセンターです。



大腸肛門病センター

痔核、裂肛、痔瘻の診断と治療、難治性便秘や便失禁などの排便障害に対する専門的治療を行っています。

外来化学療法センター

現在の抗がん剤治療は外来通院で行うのが主流です。2階に外来化学療法センター（10チェア）を設置し、アメニティに配慮した化学療法外来をめざしています。

耳鼻咽喉科を開設、 歯科口腔外科との連携



地域包括ケアにおいて最も重要とされる「摂食・嚥下機能」に対して深く関わる両科は、手術治療を含め、高度な医療を提供致します。また、他科との協働の強みを生かし、複合的なリスクを持った高齢の方々にも対応致します。

外来医療

内科、外科、整形外科、小児科については「二人主治医制」を重視し、その一人としてかかりつけ医と連携いたします。「紹介外来」と専門的医療を行う、「専門外来」を開設しました。泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、歯科口腔外科は専門性の高い外来を行います。産婦人科、乳腺外来は一般の外来を行います。複数化、多職種協働で医療を提供するセンター機能としては、「腎センター」「大腸肛門病センター」「外来化学療法センター」「消化器センター」を設置しました。

消化器センター



消化器内科・消化器外科・化学療法科が一体となり、良性から悪性まで消化器疾患の診断と治療を垣根なく行っています。



1階B病棟 緩和ケア病棟 21床 全室個室

緩和ケア病棟はがん患者様の心身の苦痛を和らげる医療（緩和医療）を最大限に行います。また、ご家族と患者様が安心して生活を送ることができるように、その人らしさを大切にケアを提供します。



2階A病棟 地域包括ケア病棟 52床

地域包括ケア病棟は住み慣れた自宅で生活するため、在宅への退院支援や調整を行います。またご家族の介護疲れ軽減のためのレスパイト入院をお受けする病棟です。食事・入浴・排せつなど生活の基本となる「生活リハビリ」を行います。



入院医療

個室率は現在の5%から40%になります。個室料（差額ベッド料）はいただきません。病棟の個室数を大幅に増やし療養環境を改善しました。産科と緩和ケアは全室個室です（但し個室の利用は病状によって医師が判断します）。ベッド数411床。一般急性期病棟、緩和ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、HCU（ハイケアユニット）の構成です。

3階 HCU（ハイケアユニット）病棟 12床

集中的な治療を必要とする場合に入院していただく特別な病棟です。人工呼吸器など、さまざまな医療機器を設置し、救命・高度医療の安全な提供・ハイリスクの手術後の医療管理を行います。患者様とご家族のその後の治療継続に活かせるように、治療開始から記憶をつなぐ「ICUダイアリー」などにも取り組んでいます。

3階A病棟・B病棟 内科病棟 腎臓内科・総合内科 40床 循環器内科・呼吸器内科・総合内科 40床

腎臓内科、循環器内科・呼吸器内科の病棟です。主に心臓カテーテル検査など循環器疾患や糖尿病のコントロール・透析導入など内分泌や腎臓疾患・呼吸器疾患を中心に治療し療養支援をします。

4階A病棟 内科病棟 40床 総合内科・神経内科

総合内科、神経内科の急性期病棟です。急性期治療のレベルアップをはかるとともに高齢の患者様にやさしい病棟をめざします。

4階B病棟 内科病棟 40床 消化器内科・総合内科・小児科

内科と小児科の混合病棟です。小児科として京都市民連唯一の入院施設になります。内科では消化器内科を中心に受け入れます。



2階B病棟 回復期リハビリテーション病棟 51床



回復期リハビリテーション病棟は脳血管疾患や脊髄損傷、下肢の骨折や肺炎など急性期の医療が終了した患者様が、ご自宅や住み慣れた地域に安心して帰られるために、従来の機能訓練だけでなく、退院後の家庭生活の自立をめざし個別的、具体的、集中的にリハビリテーションを行う病棟です。

2階C病棟 整形外科病棟 40床

整形外科・眼科・脳神経外科

主に整形外科の患者様が多く、高齢者の転倒による骨折や若い人ではスポーツでの骨折などで手術を受けるための病棟です。眼科、脳神経科の患者様も入院していただきます。

3階C病棟 女性病棟 35床 産科・婦人科・乳腺外科・外科・眼科 分娩数360件／年をめざします

安心の出産と子育てを支援します。産科病室12室はすべてシャワー付個室、分娩室に加えてLDR病室2床を設けています。女性のライフスタイルに合わせて、妊娠から分娩、産褥まで幅広く関わらせていただきます。女性の方のみがご入院いただける病棟として女性特有の疾患に対応します。



4階C病棟 外科病棟 40床 外科・泌尿器科・皮膚科・耳鼻咽喉科・歯科口腔外科

外科、泌尿器科、皮膚科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科の病棟です。手術目的や検査目的の患者様を受け入れています。手術や検査による合併症を予防し、痛みをコントロールしながら安楽に過ごしていただくように援助致します。耳鼻咽喉科と歯科口腔外科の手術を開始します。



低侵襲かつ機能温存をめざした前立腺がん治療の新たな展開

京都府立医科大学と共同で、病巣のみ凍結させる局所療法を行う予定です。

手術機能 年間2,600件の手術を行います

手術室を4室から6室へ拡張しました。消化器科での肝臓・胆嚢・膵臓の手術、婦人科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、歯科口腔外科での手術に対応します。

総合的なリハビリテーション

総勢70名を超えるリハビリスタッフが、脳卒中、骨折、心臓病、がんなど様々な疾患に対して、多様で充実したリハビリを行います。



ちいき総合サポートセンター

医療についてのご相談、がんに関わるご相談、医療福祉に関わるご相談、地域での暮らしのご相談等、あらゆるご相談と、健康情報へのアクセスのサポートを行います。



共同組織との連携

「健康づくり」「仲間づくり」「安心して住み続けられるまちづくり」をめざす健康友の会とも協力して、健康・福祉・介護のネットワークづくりを広げて行きます。



無差別平等の医療

経済的な理由によって、必要な医療を受ける機会が制限されることのないよう、自己負担なく治療を受けていただける「無料低額診療事業」を実施しています（基準あり）。また、個室についても、差額ベッド料はいただきません。

チーム医療

看護部を中核に チーム展開

安全安心の医療を ご提供するために



薬剤課

副作用の収集、医薬品評価や新薬評価等を京都市民連加盟の保険薬局や病院・診療所の薬剤師と連携して行っています。地域の保険薬局と患者情報の共有化を行い、安全・安心の薬物治療を行っています。



検査技術課

検査技術課は26名の臨床検査技師が在職しています。課内には検体検査と生体検査があります。24時間体制での時間帯でも緊急コールから約30分で緊急検査項目の結果を返すことが可能です。

放射線技術課

診療放射線技師15名で一般撮影、乳腺撮影、X線テレビ系検査、心臓カテーテル検査、MRI、パノラマデンタル、CTを備え、画像診断業務に対応しています。



Kyoto Miniren
Chuo Hospital

医師臨床研修

若い力が原動力 新しい歩み始める京都市民連中央病院
当院は50年を越える歴史を持っています。2018年から開設の専攻医研修では、内科・総合診療の基幹施設として、外科・整形外科・婦人科・リハビリテーション科・麻酔科・精神科・救急科は連携施設として、専攻医を受け入れています。

研修プログラムの方針 ●京都市民連初期研修の理念

地域に根ざした幅広いフィールドでCommon Diseaseを多数経験し、チーム医療を通して、患者本位で安全安心の医療を実践できる臨床力を高く育てることを目標とする。

研修プログラムの特徴

- 1.確実な臨床力 1年目はまず内科を6ヶ月間研修し、病歴・身体診察・鑑別診断・症例提示ができるようになります。
- 2.救急初期対応能力 初期から救急外来と当直（副直）を開始。研修医がひとりきりになることなく、段階的に救急初期対応能力が身につけられます。
- 3.グローバル・スタンダード 質の高い研修を保证するため、大リーガー医や大学・他病院から講師を招聘してのレクチャー・カンファレンスを随時開催。
- 4.他流試合 院外の様々なカンファレンスに参加。研修医が症例提示する機会が豊富です。
- 5.チームで育つ・アウトカム評価 毎月の研修委員会には指導医・多職種が参加し、360°評価を行い、SP（模擬患者）によるOSCEで自らの到達度を振り返ります。

教育研修センター

当院は、京都市西北部の急性期・教育病院をめざしています。医師研修だけでなく、看護師、薬剤師、セラピストなど医療専門職、さらには、医師事務作業補助者、診療情報管理士、診療事務など事務職、文字通りすべての職員のスキルアップを目的に設置しています。



教育集会エリアの 充実

最大300名収容の会議室を地域の皆様と活用。



栄養課

管理栄養士と調理師が協力し、年齢や病状などに応じた食事を手作りで提供しております。その他、栄養指導や母乳教室なども行い「食」を通じて治療・療養・より良い健康管理をサポートしています。

臨床工学課

臨床工学課は19名在職しており、生命維持管理装置の操作及び管理を行う事を業務とする医療従事者です。多職種と共にチーム医療の一員として医療を支えています。また院内での学習会も積極的にを行い、安全な医療を提供できるように日々活動しています。

事務部門

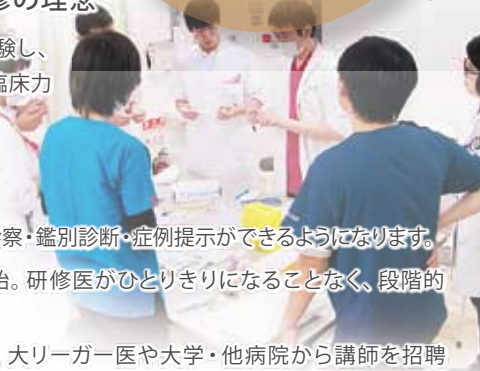
診療事務課・診療支援課・医師文書支援課・診療情報企画課・用度課・施設課・組織課・総務課があり、病院を支える重要な役割を担っています。

患者総合支援部門

地域医療連携課、医療福祉課、入退院支援課、地域広報課があります。他の病院や医院との連携、入院中、退院後のお困りごと、経済的な相談やがんの相談などあらゆる相談を、ちいき総合サポートセンターで受け付けています。

教育病院を 地域と創る

Kyoto Miniren
Chuo Hospital



京都市民連中央病院の概要

■開設者
公益社団法人 京都保健会

■病院開設
1987年 3月

■病床 全病床数／411床
7:1一般病棟（DPC）／275床
ハイケアユニット／12床
回復期リハビリテーション病棟／51床
地域包括ケア病棟／52床
緩和ケア病棟／21床

■統計（2018年度）
新規入院患者数／7,692人
平均病床利用率／94.1%
平均在院日数（DPC病床）／13.6日
手術件数／2,065件
全身麻酔手術件数／965件
分娩数／177件
救急車搬入数／3,098件

■保有機器（2019年11月現在）
2層検出器型CT／
3.0テスラMRI、1.5テスラMRI／
シネアンギオ／トモシンセス／
テレビレントゲン3台／
マンモグラフィ／
パイプラインカテーテル撮影装置／
パノラマ／デジタル／
一般撮影／心エコー／
トレッドミル／
ホルター心電図解析／
質量分析器／腹部エコー／
内視鏡／脳波筋電図／
血液・化学・輸血検査／
電子顕微鏡／手術室／
重症管理室／人工透析（65床）／
リハビリテーション室（理学療法・作業療法・言語療法）／
外来化学療法室／
カプセル内視鏡